

発達障害について（第四回） ～注意欠陥多動性障害（AD/HD）について～

大まかな分類と特徴

それぞれの障害の特性

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

自閉症

広汎性発達障害

アスペルガー症候群

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 不器用（言語発達に比べて）

知的な障害を伴う
こともあります。

注意欠陥多動性障害

- 不注意（集中できない）
- 多動・多弁（じっとしてられない）
- 衝動的に行動する（考えるよりも先に動く）

学習障害（LD）

- 「読む」「書く」「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

注意欠陥多動性障害（AD/HD）

- 注意欠陥多動性障害（AD/HD：Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder）は、ADHDと表記されることもあります。注意持続の欠如もしくは、その子どもの年齢や発達レベルに見合わない多動性や衝動性、あるいはその両方が特徴です。この3つの症状は通常7歳以前にあらわれます。
 1. 多動性（おしゃべりが止まらなかったり、待つことが苦手であらうろろしてしまったりする）
 2. 注意力散漫（うっかりして同じ間違いを繰り返してしてしまうことがある）（強い不注意傾向）
 3. 衝動性（約束や決まり事を守れないことや、せっかちでいらいらしてしまふことがよくある）

一般的に多動や不注意といった様子が目立つのは学齡期ですが、思春期以降はこういった症状が目立たなくなるともいわれています。

職場においては…

- ミーティングで一人ひたすらで話続ける。
- 飽きっぽい（すぐ異動・転職したがる）→転動性
- 時間が守れない、遅刻が多い。必ず遅れてくる。
- 怒りっぽい。怒りが抑えられない。
- 衝動的な行動が多く、周囲が振り回される。（早朝、深夜の電話、メール、LINEでの指示出し、業務確認行為）
- 目的やノルマ達成をする能力は高いため「仕事ができる」と感じられやすい。（実際「結果だけ」は出す）
- 権限を与えられると（与えられなくても）高圧的な態度で、相手を追い詰める。パワハラ傾向が強い。
- 自分の都合で相手の仕事を止めてでも自分の業務を達成しようとする。

人間関係において破綻をきたしやすい

- 新人～中堅職員においては、忘れ物やミーティングのすっぽかし、同僚との意見の相違によるぶつかり合い、等「可愛らしい不適應」で済むことが多いです。
- しかし、昇進や責任を任せられる、部下を持つなどの変化があった場合に、ハラスメントをしやすい環境になることがあります。
- 特に「衝動性」が抑えられない場合は、高い確率で本人が気づかないまま深刻なハラスメントに発展することがあるので、注意が必要な場合があります。
- 特に会社の上層部からは「あいつは必ず結果を出す」と評価されがちですが、上司の見えないところで深刻な人間関係の破綻をきたし、多くの敵を職場の内外に作っている場合がありますので「早すぎる成果」「異様に高い成果」を出した場合には、点検をしましょう。

日常会話における「ズレ」

- 休職していたADHDの患者が精神科のDrに「就職説明会に行ってきた」と言うので、「何社ぐらいの説明を受けましたか？」と尋ねた。
- 彼は、こちらの質問には答えず「自分はこういう仕事をしたいから就職説明会に行ったんだ」という話を延々と続けた。
- 彼は、自分の考えを伝えたいという衝動を抑えられなかった。
- 話の合間で、もう一度、同じ質問をすると、彼はやっと「1社だけです」と教えてくれた。
- このようにADHDの人には、話の要点を捉えずに、自分の関心に従って、たった一言に強く反応してしまうという傾向がみられる。
- そのために、相手が何を聞こうとしているか理解しようとしなくて、話がズレてしまいがちになる。本人は、その点に自覚がないことも多く、話もどんどん長くなる。
- ADHD当事者は、相手のほんの一言に反応して、思いついたことを一方的に話し続けてしまいがちなのである。

家庭

会社

対人関係

自身

多動性

食生活や睡眠リズムが不規則

- ・ 頻回に離席する
- ・ 仕事が進まない

- ・ 怠けていると思われる
- ・ 人間関係をうまく築けない

頻繁に問題に巻き込まれる

衝動性

破壊的行動で家庭不和

- ・ パワハラ危険
- ・ 過剰なリスクテイク

些細なことでチームメンバーと衝突

拒絶されていると感じる

不注意

財布やカギなど大事な物を紛失

- ・ 業務ミスが頻発する
- ・ 指示されたことを忘れる

約束や期日を忘れて信頼を失う

同じミスを繰り返し、自信喪失